

ふれあいトーク記録書 (市議会サポーターとの意見交換会)

開催日時： 令和3年7月3日(土) 午前10時00分～午前11時30分

場 所： 市役所7階 第2・第3委員会室

参加人数： サポーター5人 議員14人

- 次 第： 1. 開会挨拶 議長 伊藤隆信
2. 意見交換会 ①より良いサポーター制度を目指して
②フリートーク
3. 閉会挨拶 副議長 鬼頭博和

項目	参加者の意見・質問	議会の応答
①より良いサポーター制度を目指して	魅力あるサポーター制度については、3期やってきた自分でもわからない。いかに議会に関心を持ってもらうかが大事だ。市民活動をやっている人に、議会ではこんなことをやっている等話してきた。傍聴にきてもらえないか、サポーターになってもらえないかと話してきたが、議会に関心を持った人が他の人たちに議会について伝えていくべきではないか。今後も議員とともに考えていきたい。 聞き取りにくくなってきたので、こういう場にもマイクがほしい。	次回からマイクの用意をしていく。
	議員の人数より少ないサポーター等、マンネリ化を打破してほしい。半面、新人の若い議員が委員長になった	

	<p>りで新鮮。</p> <p>住みよい岩倉にしてもらいたい。テーマ、切り口はいくらでもある。マンションの老朽化、健康保険、2年できなかった桜まつり等。話を担当の職員が入ってもらえると良い。</p>	
	<p>1年だけではわからず、2年目をやらせてもらった。議会基本条例について、自分たちの活動を点検して努めてみえること等、一市民としてわかったことが良かった。今後も自分なりの見方を磨いていきたい。</p> <p>雑草駆除について。駅西の狭い道、草がぼうぼうで、以前市民の声で書いて刈り取られたが、今また、ぼうぼうの状態になっている。</p>	<p>県道の草刈りは遅れる。市から頼んでいるが発注が遅れている。</p> <p>県のルールで草刈りは年1回行っている。草の生育が早いから、県のルールを変えていけないといけない。</p>
②フリートーク	<p>マスクの関係もあり、声が聞き取りにくい。高齢なので、マイクを上手に使うて聞きやすく話してもらわないと、聞いていてもつまらない。</p> <p>市民の代表として送りこんだ議員なのだから、資質が問われている。しっかり勉強してほしい。</p> <p>老人憩いの家の運営は、北は南より優遇されている。</p> <p>川にタモを持ってビニールを拾っていた市民がいて感心した。</p>	<p>聞き取りやすい話し方を心がけていく。</p>
	<p>地域コミュニティについて。岩倉市は30区もある。役員のなり手もないので小学校区の5区くらいにできないか。</p>	<p>行政区を大きくまとめることには異議あり。災害時の対応など小さい単位が必要。今はコロナで孤立する人たちにいかに目をかけていくかが重要。</p>

		複数の小学校に通学する行政区もあり、難しい問題。区長の業務量多く、負担軽減する課題もあると考える。
	第5次岩倉市総合計画は夢物語ではないか。企業誘致について、県の計画を止めるわけにはいかないのか。	第5次岩倉市総合計画すべてを、全員が納得しているわけではない。特別委員会をつくり、そのなかで意見を言ってきた。
	産廃の問題を他の議員はどう考えるのか。	
	落ち葉の後始末など、昔は家の周りの落ち葉などは住民がきれいにしていたが、今は、市民プラザの落ち葉についてもマンションの住人が市に苦情を言う。	五条川沿いの住民は桜の木の落ち葉をきれいにしてくれている。 アダプトプログラムに登録すれば、ゴミ袋なども配布している。
	ゼロカーボンシティ宣言に関する陳情について。陳情をされた安城市の方は、陳述にもみえて、知立市など多くの自治体が採択されたが、岩倉市議会は採択できなかった。	45分議論したが、今後、個々人が勉強をしていく方向で「聞き置く」とした。
	北小学校の複合施設について、保護樹の伐採をしたようだが、周辺の緑化はできているか	新体育館東側に芝生広場が計画されている。